

# 輝く栗東人

できないことは何もない。創意工夫で人生を楽しむ達人。

■視力障害がある中、桐の千羽鶴は  
 どうやって作られたのですか？  
 小学3年生の頃から弱視になり、  
 今、右目は失明し、左目もほとん  
 ど見えない状態です。木工作品を作

■木工作品を製作されるようにな  
 ったのはいつからですか？  
 昔から「ものづくり」が趣味で  
 した。仕事は陶器の製造をしてい  
 て、40代後半には、会社の仲間と  
 ともに、三重県で山小屋を一から  
 建てたこともあります。定年退職  
 後は、職業訓練校で木工の技法を  
 学び、地域の講座でも学習しまし  
 た。講師から「技術を教えてほし  
 い」と言われたこともあります。  
 「あったら便利だな」と思うもの  
 を考え、製作しています。



佐志原 誠一さん  
 (84歳・川辺)

視力障害がある中、車庫  
 を工房に、知恵と工夫で  
 生活を便利にする木工作  
 品を次々に誕生させる。  
 治田小学校のウサギ小屋  
 などボランティアで製作。中  
 見込み。



■障害はハンディではないですか？  
 母の言葉などから視力がなくなる  
 かもしれないと、将来の覚悟はで

った時に、桐の端材を何とか活用  
 できないかと考え、縁起のよい千羽  
 鶴を作ってみようと挑戦しました。  
 とても細かい作業でしたが、1日約  
 10個ずつ、3か月ほどで完成できま  
 した。1枚の端材を道具に使い、削  
 ったり、切ったりしながら、胴と羽  
 を作っていきます。その後、別に作っ  
 た首と尾をひっつけます。道具は手  
 作りしたものもあります。見えない  
 ので、手の感覚を頼りに、長さ、重  
 さ、厚みなどを確かめながら作業し  
 ます。一番難しかったのは、羽の  
 角度です。左右が同じ角度になる  
 ように頑張りました。



「ものづくり」は自分で考える  
 から面白いのです。ペットボトル  
 とビー玉を活用した自動ドア、  
 タンスの一部を活用した椅子な  
 ど、今までに工夫して多くのもの  
 を作ってきました。「できな  
 い」と言う前に、まずはやって  
 みるのが大切だと思います。

きていました。63歳で眼鏡が矯正  
 不能になり、70歳で身体障がい者  
 手帳の交付を受けました。右手は  
 交通事故で不自由になり、左手は  
 ヘルペスで痛みがあります。しか  
 し、大変だとは思ったことはありません。  
 人生は楽しめないかと損で  
 す。いつもどうしたら楽しいかを  
 考えています。ごみ出しなどの家  
 事もしていますし、畑で野菜裁  
 培も楽しんでます。できない  
 ことは何もありません。できな  
 いと決めつけるのではなく、自  
 分にできることをしています。

Reliable Quality for Tomorrow  
**555 三恵工業株式会社**

1960年創業以来、主に自動車用補  
 修部品(特にサスペンション、ステア  
 リング系部品)の部品メーカーとして  
 国内を始め、多くの海外のお客様にも  
 長くご愛顧頂いております。

〒520-3045 滋賀県栗東市高野 305  
 tel.077-553-0555 fax.077-553-2408  
 http://www.sankei-555.co.jp/jp/  
 BBCにてCM放映中

好評分譲中  
**下戸山 全41区画**  
 近日分譲開始  
**蜂屋 全22区画**

新築/リフォーム/仲介/賃貸/土地買取

**西和不動産販売(株)**  
 栗東市上鉤 459-7 TEL. 0120-477-210

広告欄 有料広告掲載のお申込み・お問合せは 広報課 ☎551-0641 ☎554-1123へ(掲載料金:本文最終ページ:1枠30,000円)  
 掲載内容のお問合せは、直接広告主へ。内容に関する一切の責任は広告主に帰属し、市が推奨するものではありません。